

USB2.0 対応 高性能高速型 GPIB 通信 マイクロコンバータ GP-IB(USB)FL



※製品の価格・仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。

特長

■IEEE-488.1/488.2 準拠の GPIB 通信、最大 1.5Mbyte/sec で通信可能
IEEE-488.1/488.2 規格準拠の各種機器と最大 1.5Mbyte/sec の転送速度で通信が行えます。マスタ(コントローラ)およびスレーブの設定が可能です。

■USB1.1/USB2.0 規格準拠し、バスパワー駆動により外部からの電源が不要
USB1.1/USB2.0 規格に準拠しており、HighSpeed(480Mbps)での高速転送が可能です。
USB のバスパワーで動作するため、外部からの電源が不要です。また、添付の USB ケーブル(1.8m)により、GPIB ケーブルを使用せずに各種機器の GPIB インターフェイスに直接接続できます。

■送信 2Kbyte 受信 2Kbyte のバッファメモリを搭載
送信専用 2Kbyte、受信専用 2Kbyte のバッファメモリを搭載し、データ送受信時での CPU 負荷軽減に役立ちます。

■Windows/LabVIEW に対応したドライバライブラリを添付
添付のドライバライブラリ API-USBP(WDM)を使用することで、Windows/LabVIEW の各アプリケーションが作成できます。また、ハードウェアの動作確認や、接続機器との簡単な通信テストができる診断プログラムも提供しています。

■自社開発で安定供給が可能な高速 GPIB コントローラを搭載
自社開発の高速 GPIB コントローラ(μPD7210 レジスタ互換)を搭載しているため、安定供給が可能です。

■SPAS イベント機能搭載(スLEEP時)
従来の GPIB コントローラ(μPD7210)の機能に加えてシリアルポーラされた時のイベント(SPAS)を搭載しています。これにより自由度の高いシステム構築が可能です。

本製品は、パソコンの USB ポートを IEEE-488 準拠の GPIB 通信ポートへ変換するメディアコンバータです。添付の USB ケーブル(1.8m)により、GPIB ケーブルを使用せずに各種機器の GPIB インターフェイスに直接接続できます。また、バスパワーで動作可能なため、シンプルでコンパクトな GPIB 通信システムが構築可能です。Windows ドライバ、LabVIEW ドライバを添付しています。

※製品の価格・仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。
※最新の内容については、当社ホームページにある解説書をご覧ください。
※データシートの情報は 2019 年 8 月現在のもです。

仕様

項目	仕様
GPIB 部	
チャネル数	1 チャネル IEEE-488.1, IEEE-488.2(GPIB)規格準拠
転送形式	8 ビット/パラレル・3 線/ハンドシェイク型
転送速度	1.5Mbyte/sec
データバッファ容量	送信用 2Kbyte/受信用 2Kbyte
信号論理	負論理 L レベル : 0.8V 以下、H レベル : 2.0V 以上
機器間ケーブル長さ	4m 以下
接続ケーブルの総和	20m 以下
接続可能台数	15 台 (Max.)
USB 部	
バス仕様	USB Specification 2.0/1.1 準拠
USB 転送速度	12Mbps(フルスピード), 480Mbps(ハイスピード) *1
ケーブル長	1.8m
電源供給	バスパワー
共通部	
消費電流	5VDC 450mA (Max.)
使用条件	0 - 50℃, 10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
標榜寸法(mm)	62(W)×64(D)×24(H)
質量	110g(USB ケーブル、アタッチメント含まず)
規格	VCCI クラス A, FCC クラス A, CE マーキング (EMC 指令クラス A, RoHS 指令)

*1 応答速度は、ご使用のパソコン環境(OS、USB ホストコントローラ)に依存します。

サポートソフトウェア

■ドライバライブラリ API-USBP(WDM) (添付)
当社ハードウェアへのコマンドを Windows 標準の Win32API 関数(DLL)形式で提供するライブラリソフトウェアです。Visual Basic や Visual C++ などの Win32API 関数をサポートしている各種プログラミング言語で、当社ハードウェアの特色を活かした高速なアプリケーションソフトウェアが作成できます。また、インストールされた診断プログラムにより、ハードウェアの動作確認にも利用することができます。

対応 OS や適応言語の詳細・最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

■LabVIEW 対応 GPIB 通信ドライバ API-GPLV(W32)
(添付: API-USBP(WDM) メディア同梱)

API-GPLV(W32)は、"National Instruments"社 GPIB 関数スタイルで作成されたドライバであり、LabVIEW で動作する GPIB システムおよび、既存のアプリケーションを流用して当社製 GPIB ボードを制御するためのソフトウェアです。

また、インストールされた診断プログラムにより、ハードウェアの動作確認にも利用することができます。

対応 OS や適応言語の詳細・最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

ケーブル・コネクタ（別売）

■ケーブル

GPIB ケーブル(2m) : PCN-T02

GPIB ケーブル(4m) : PCN-T04

■コネクタ

GPIB コネクタアダプタ : CN-GP/C

本製品を相手機器に接続する際、本製品が相手機器本体と干渉する場合に有効です。

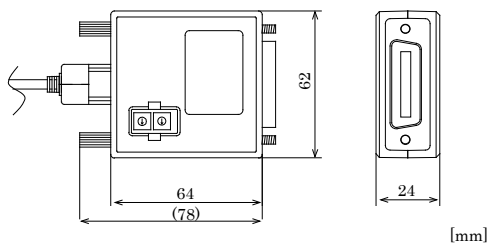
※ 各ケーブルの詳細は、当社ホームページでご確認ください。

商品構成

- 本体[GP-IB(USB)FL] …1
- USB ケーブル(1.8m) …1
- USB ケーブルアダッチメント …1
- ファーストステップガイド…1
- Media *1 [API-USBP(WDM)] …1
- 登録カード&保証書…1
- シリアルナンバーラベル…1

*1 : Media には、ドライバソフトウェア、説明書を納めています。

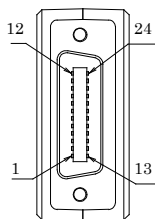
外形寸法



コネクタとの接続方法

コネクタとの結線方法

本製品と外部機器との接続は、コンバータのインターフェイスコネクタ(CN1)で行います。外部機器と接続する場合は、コンバータのネジを締めて固定してください。



適合コネクタ(ケーブル) : GPIBケーブル(IEEE-488規格準拠)

コネクタの信号配置

■インターフェイスコネクタ(CN1)の信号配置

